

折に触れ 四字熟語

NO. 169 『密雲不雨』 みつうん ふう

< 意味 > 兆候はあるのに、依然として事が起こらないことのとえ。雨雲で覆われているにもかかわらず、まだ雨が降らない意から。「密雲雨ふらず」と訓読する。

出典：『易経』えききょう 小畜しょうちく

用例：密雲不雨という言葉があるが、そういう実にはいやな気持ちがしている。

< 志賀直哉・暗夜行路 >

語釈：「密雲」は空いっぱいに厚い雲が重なっている様子。「不雨」はまだ雨が降ってきていない意。

一言：年末慣例の『今年の漢字』に皆さんの中にも予想された方がいらっしゃるかも知れませんが、「密」が選ばれました。毎日のように、大臣や知事から「三密」を避けるよう言われ、我々はそれを守って行動しているつもりですが、コロナ感染は依然として収まる気配がありません。

参考文献：岩波書店「四字熟語辞典」